

理事長 吉田 昭

平成27年度の京丹波福祉会の事業がスタートいたしました。

園部町横田のあしたーる工房に通所されるご利用者さんが製パン作業や下請け作業などに励まれている様子や、休憩時間に卓球バレーなどを楽しまれているのを見ていて、嬉しく思っております。

京丹波福祉会の新年度はこれまでの法人の在り方を再点検し、新たによりよい京丹波福祉会を再建していく再出発の年として位置付けております。全理事、全職員が全力を尽くして頑張っていきたいと思っておりますので、よろしくご支援いただきたくお願い申し上げます。



私は10年前の京丹波福祉会設立時に依頼を受け、京丹波福祉会の理事及び嘱託医に就任いたしました。以後、ご利用者さんの健診や予防接種、健康相談など、医療を中心に活動してきました。昨年4月に佐井前理事長の後任として理事会より推挙され、理事長に就任することになりました。私自身、園部町で平成3年より小児科内科医院を開業し、かつ、多くの公務も引き受けているなかで、理事長としての責務を果たせるのかという不安はありましたが、出来る限りの範囲でお役に立ちたいとの思いで引き受けた次第です。

私事ではありますが、昭和51年に小児科研修医としてスタートし、その後、小児の神経疾患を専門領域として、京都府立医大、京都市児童福祉センターそして京都市立病院などに勤務し、てんかんや発達障害などの小児の神経疾患の診断、判定、治療などに15年間従事してきました。また、重症心身障害児施設や知的障害児の入所施設の勤務医や嘱託医などを経験し、その経験のなかで障害のある方々への生涯にわたる医療・福祉がまだまだ不十分である状況を知りました。

そのような経験から、京丹波福祉会を含め、障害のある方々の生活を支援する仕事の重要性を認識し、理事及び理事長を勤めさせていただいています。

そうしたなか、昨年末に施設の要であった前施設長による、あってはならない不祥事が発覚いたしました。

被害者及びご家族の方には、改めて深くおわび申し上げます。この事案に理事会、施設が対応にあたったのですが、要である施設長不在のなか、被害者の方への対応やご利用者さん及び家族会への対応などが遅れ、関係の方々に多大なご心配やご迷惑をおかけしてしまいました。

以後、京都府・南丹市などの行政の指導や援助をいただき、また平井弁護士や南丹圏域障害者総合相談支援センター「結丹（ゆに）」の支援のもとに法人全体の改善に努めております。

具体的には理事会機能を強化していきます。施設運営のなかにおいて職員で構成される各委員会の機能を充実させる、理事会と施設、職員間並びにご利用者さんと施設間のコミュニケーション環境を高め様々な意見が反映できるような体制を作る、施設内の苦情を含め、さまざまな問題を適切に解決処理していくことができるような体制を築き、組織として問題の解決にあたるなどを、重点項目に掲げ取り組んで参ります。これらのことを実践するなかで、新しい京丹波福祉会を運営し、ご利用者さんにより充実した生活の場を提供したく思っております。

また、これまで以上に家族会との連携を図りご利用者さん、ご家族の意向が反映できる施設をめざしていきます。

施設の職員や、理事会がそれぞれ全力を尽くして、そしてご利用者さん及び家族会の協力のもとに、より充実した生活の場を提供できる京丹波福祉会となっていかなければと思っております。

京丹波福祉会への信頼回復への道筋は簡単にはいかないと思っておりますが、施設に関係する方々の努力を信じ、各自のできる事をやって頂ければ、必ず信頼を取り戻せると思っております。

私も自分の任務を出来る範囲で、果たしていきたいと考えております。

施設長 石田 知子

昨年発覚いたしました法人常務理事兼施設長の不祥事により

ご利用者様並びにご家族様には大変なご迷惑とご心配、そして

施設に対する様々な思いを持って、日々ご家族を通所させておられることと

思います。今回の件を契機に、当法人が抱える様々な問題や課題が表面化し、

発覚から半年が経過したにも関わらず、ご利用者様、ご家族様が

安心して通える施設と成り得ていないことが現状であると捉えています。

一日も早くご利用者様、ご家族様の不安を解消し、安心して通っていただける施設になれるよう

今までの反省を振り返り信頼される施設運営を行っていきたくと考えています。

従来の施設として至らなかった点、改善すべき点を整理し、早急に施設の立て直しを

図っていきたくと考えています。

それにはご家族様との率直な意見交換の機会を定期的に増やすとともに、

第三者的な立場の専門家をはじめさまざまな方が、施設の運営に日常的に関わりを持つ体制を

一日でも早く確立していきたくと考えています。

そしていつか、あしたーる工房を利用して本当によかったと言っていたいただける施設に成長していく

ことを理事そして職員が共に課題意識を持って取り組んでいけるように努めて参ります。

何卒、忌憚ないご意見やお声をお寄せください。よろしくごお願い申し上げます。



副施設長 小谷 美由紀

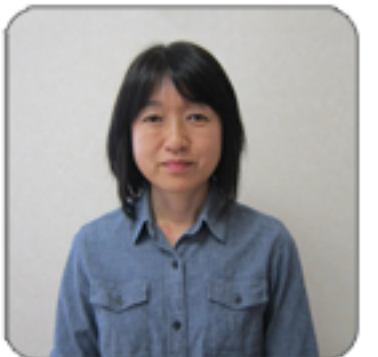
「今日につづく明日がある、がんばりすぎずあきらめず・・・」

失った信頼をとりもどすことは、とても大変なことと思っておりますが、

日々利用者さんの声に耳をかたむけ、思いをくみとれるよう

努力してまいります。

あしたーる工房に来てこんなことができるようになった、みなさんの
頑張りをお伝えしていきたいと思っております。



グループホーム 管理者 垣村 知哉

ヘルパーステーション

グループホーム風和里、ヘルパーステーションあしたーるの管理者を

している垣村です。利用者さんの生活という一番大切なところを

サポートさせて頂いているので、利用者さんに寄り添い、

充実した生活を送って頂けるように努めていきたいと思っております。

よろしくごお願いいたします。



経理・総務係 紹介

大町経理課長

通所されているご利用者さんの笑顔、一生懸命頑張って作業に取り組まれている姿、給食で頂く新鮮な野菜や美味しいパンを元気の素に、日々の事務に励んでいます。宜しくお願いします。

片山総務・経理係長

工房事務室で事務を担当しております片山です。直接、利用者さんの支援に関わることは少ないのですが、いつも、工房でがんばってお仕事されているようすを見させていただいており、みなさんのがんばりに、こちらが元気をいただいております。できないことがあっても、昨日より今日、今日より明日、できることを一つでも増やせていけるようがんばりましょう！職員も、できなかったことが一つでもできるようになったことをみなさんとともに喜びたいと思っております。

作業係 紹介

上林作業係長(育休中)

いつも皆さまに助けをもらいながら、お仕事が続けられることに感謝しております。笑ったり、悩んだり、挑戦したり。一緒に成長出来たらなと思っています。また会える日を楽しみにしていますね！

杉森作業係長補佐

あしたーる工房作業係の係長補佐をしております杉森です。当法人をご利用頂いている皆様、様々な作業を通して働く喜び、給料を得る喜び、自分の役割がある喜びなどを感じて頂けたらと思い、日々支援に当たらせて頂いております。

西村事務員

4月から、事務員としてこちらでお世話になっております。“できる人”に早くなれるように頑張りますのでよろしくお願い致します。早く職場にも慣れたいと思っています。

給食係 紹介

香川給食係長

あしたーる工房でお世話になって6年目になります。利用者さんから「おいしかったわぁ」と声をかけていただくことを励みにして、これからも皆さんに喜んでいただけるように努力したいと思います。

佐々木調理員

あしたーるに来て、もうすぐ4年になります。これからもおいしい給食を食べて頂けるように頑張っていきたいと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。

吉田調理員

調理員として働きもう少して3年になります。給食を楽しみにしている方も多いと思いますので、おいしくて安全な食事を心を込めて作ってきたいと思います。



調理風景

作業案内

農耕グループ

農耕グループでは京都府南丹市日吉町胡麻にある自然豊かな広大な田畑で新鮮な作物を作っています。草引きや水やりをはじめ、時にはくわや耕運機などを用いて一生懸命作業しています。また、丹波地方は黒豆の名産地なので特に力を入れて栽培しています。それらの黒豆を使ったレトルト商品も販売しておりますので、是非一度ご賞味下さい！

平田作業リーダー

農耕グループで支援をさせて頂いております、平田慶顕です。利用者さんと一緒に作業をして、毎日汗を流しています。美味しい野菜を作れる様にこれからも頑張ります。

栗原生活支援員

緑豊かな胡麻の農場で、おいしい野菜が届けられるように利用者の皆さんと日々頑張っています。



作業風景

泥んこになりながら苗の植え付け、頑張っています



支援員に教わりながら苗の植え付け中



おいしいお米ができますように！



下請けグループ

山崎作業リーダー

利用者の皆さんに日々作業（仕事）に来ているという気持ちを持って頂くよう、時には厳しく、時には優しく社会人としてのルール、マナーを教えながら楽しく皆さんと作業をして行きたいと思っています。これからもメンバー一同よろしくお願いたします。

馬淵生活支援員

にぎやかな下請けメンバーの皆さんとお仕事に励んでいます。

利用者の皆さんが快適に過ごせるよう、また通所が楽しみになるようにお手伝いできればと思います。

竹上生活支援員

多くの利用者の方と楽しくお仕事をしています。

個々のカラーを活かしながら

自信を持って仕事ができるよう支援しています。

小林生活支援員

明るく楽しくをモットーに相手の立場になって考え、有意義に過ごせるように頑張ります。これからもよろしくお願いたします。

作業案内

箱折り作業に関しては、製紙会社から箱の部品折りと組立の仕事を受け、就労継続支援B型を中心に決められた納期までに仕上げ、納品しています。
生活介護の方々は、新聞のリサイクル用の袋詰めやボルトの油を拭き取る仕事をしたり、朝に農耕から届いた野菜の出荷準備（計量、袋入れ、表示シールと値段貼り等）もして頂いています。まだまだ色々な仕事を増やして利用者の皆さんが意欲を持って作業できるようにして行きたいと思っています。

支援員の補助を受けながら、皆さん集中して作業に取り組まれています。

作業風景



フェルトの袋入れや野菜の計量袋入れをしています



キズがつかないように一箱ずつ丁寧に折っています。



空き缶グループ

杉森作業リーダー

空き缶作業を始め、様々な作業や日々の交流を通して、利用して下さる皆様の個性を伸ばせる様、日々支援にあたらせていただいています。

森生活支援員

空き缶グループの皆さんと、楽しく作業できる様にサポートしています。

作業案内

空き缶グループでは、地域の皆様より回収させて頂いた空き缶のプルタブとり、プレスを行い、出来上がった物を取引業者様に納品しています。また、その他にも、工房内の清掃作業や、花壇での野菜やハーブ栽培、利用者の方々の個性を活かした創作作業など様々な作業に取り組んでいます。

高倉生活支援員

元気なみなさんと、毎日、元気に働いています。

作業風景



空き缶回収！カートを押して頑張っています！



空き缶の選別作業中



空き缶作業終了！片付けも頑張っています。



ハーブ栽培に挑戦中です！



ゴミをかき集め、ちりとりも使えるようになりました！



製パングループ

作業案内

製パングループでは、粉量りからパン生地を作るという責任ある作業に取り組んでいます。温度やパン生地のやわらかさなどを見ながら成型、焼成をし、出来あがったパンを販売します。自分たちがお客様の為に心を込めて一から作ったパンが売れた時には笑顔が見えます。よりお客様に喜んで頂けるよう、新商品や季節限定のパンの製造も積極的に取り組んでいます。

久保田作業リーダー

日々パン製造を通じて利用者さんが1つでもできることが増えてほしいなと思い支援に当たっています。色々な種類のパンを作り、他のグループの方やお客様にも喜んでいただけるパンを、製パンのみんなで作りたいと思っています。



井尻生活支援員

主に製パンの作業支援をしています井尻と言います。みなさんと楽しく作業ができるよう、色々支援していきたいと思っていますのでよろしくお願いします。

大浦生活支援員

利用者さんと一緒に仕事を頑張って、努力して行きたいと思っています。

新作パン

バンピーノ ¥160

オレンジピールとチョコチップが混ざり合い、大人な味わいです



作業風景



工房での販売の様子。みんなの楽しい時間です



体温を計ったり、消毒チェックも大切な仕事です



発酵機も使えるようになりました！

第2あしたーる工房の紹介



平成26年12月にあしたーる工房の分所として第2あしたーる工房を開設しました。こちらでは、農耕グループの方達が着替えをされたり、昼食をとったり、またゆっくり休憩を取って頂けるスペースとなっています。

農耕グループの方達の為に元気になる、おいしい給食を作っています。



新グループホーム「あかり」開所！

平成27年5月1日に誕生し、現在女性6名の利用者の方が職員のサポートを受けながら共同生活を送っています。

皆で施設の周りにお花や野菜を植えたり、華やかなグループホームです。



編集後記

爽やかな季節、いかがお過ごしでしょうか。さて、昨年末に発覚しました不祥事を受けて、新たな信頼回復に向け、その一環として「あしたーる通信」第10号を発行しました。今回は、職員及び各グループの紹介を中心に編集させていただきました。工房と利用者(及びご家族)、地域とのパイプ役として、「あしたーる通信」の果たす役割は大きなものがあります。ご一読いただきご意見・ご感想をお寄せください。お待ちしております。

夏の疲れが出やすい時節、皆様お身体ご自愛ください。

(編集者一同)

